

令和4年度の教育行政について

令和4年2月9日開催 第47回津市総合教育会議

1 GIGAスクール構想の実現に向けた取組

教員の資質向上のための取組

■ 全教職員を対象とした研修

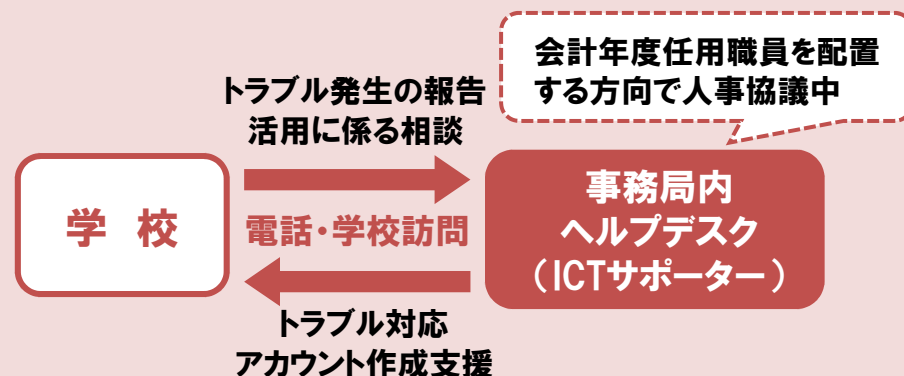
- ・ 津市教職員研修会(40講座程度)において、
を開設し、教職員のニーズに応じた指導力・対応力向上のための研修を実施

■ 情報教育推進教員養成講座

- ・ 授業づくりやセキュリティ対策等、年10回程度、校区において情報教育を推進する人材育成のための講座を実施

ヘルプデスク(ICTサポーター)の設置

- ・ 学校におけるICT機器に関するトラブルや相談への対応やアカウントの作成支援等を実施



5つの学習ツールの効果的な活用

- 1 津市e-Learningポータル
- 2 授業支援クラウド(ロイロノート・スクールの予定)
- 3 デジタル教材(みんなの学習クラブ・タブレットの予定)
- 4 デジタル教科書
- 5 Web会議システム(Zoom)

- ・ タブレット端末を活用した授業等において5つの学習ツールの効果的な**実践の公開**
- ・ 「津市GIGAスクール通信(仮称)」の定期的な発行⇒効果的な**実践を広く周知**

特化研究プロジェクトによる先進的な取組

■ 先進的で専門的な研究を実施 (研究指定校20校程度)

- ・ ICT(タブレット端末等)を効果的に活用した「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った**授業改善**
- ・ 学校での協働的な学びと家庭での個別最適な学びを**連動**させた取組を実施
- ・ 一人一人が自立した学習者として**学び続ける力の育成**

2 学校施設の整備

令和3年度補正予算(令和4年度へ繰越)、令和4年度当初予算で要求・財政協議中

長寿命化改修

第2期津市学校施設長寿命化計画
前期計画: 令和2年度～7年度

▶ 老朽化した校舎棟の改修・環境整備

< 基本方針 >

- ・ 児童生徒が長時間使用する**普通教室**が含まれる棟を対象
- ・ 将来にわたって使用する校舎棟を対象
- ・ 劣化度調査に基づき**機能維持**に必要な改修を優先

- 最も改修が必要な校舎棟を選定
- 機能維持を図ることを優先

経年劣化した建物の優先箇所の原状回復
(あわせて性能向上)

計画期間中に
より多くの学校を整備
(10校程度を目標)

改修内容	実施校			
		R2	R3	R4予定
小学校	修成小	設計	工事	
	安濃小	設計	工事	
	上野小		設計	工事
中学校	朝陽中	設計	工事	
	西橋内中※		設計	工事
	橋南中		設計	工事
	東橋内中			設計

※西橋内中学校は工事を2か年で計画

トイレ洋式化改修

感染症対策

▶ 校舎棟トイレ(児童生徒用)を洋式化

児童生徒数に対し洋式トイレの数が不足している
小中学校のトイレ
洋式化を推進

小学校	10校	13基
中学校	7校	29基

空調設備改修

感染症対策

▶ 平成17年度に設置した芸濃中学校空調設備の能力低下に伴う改修

普通教室・特別教室等	22室
------------	-----

▶ 老朽化により能力が低下した職員室等の空調設備を改修

小学校(職員室・校長室等)	13校
中学校(職員室・校長室等)	4校
幼稚園(職員室)	4園

給食室の手洗い場改修

感染症対策

▶ 給食室の手洗い場へ肘まで洗浄可能な洗面器の設置・自動水栓化

小学校	9校
中学校	1校



2-1 学校施設の整備(トイレの洋式化)

【トイレ洋式化の状況】

			児童・生徒用										職員用等	
			小学校・義務教育学校(前期)				中学校・義務教育学校(後期)				小・中・義務教育学校合計			小・中・義務教育学校合計
			学校数	総便器数 (基)	洋便器数 (基)	洋便器率 (%)	学校数	総便器数 (基)	洋便器数 (基)	洋便器率 (%)	総便器数 (基)	洋便器数 (基)	洋便器率 (%)	洋便器数 (基)
H24			56	2,345	537	22.9	20	1,004	249	24.8	3,349	786	23.5	69
トイレ快適化 計画	H25 ～ H29	【前期】 H25 ～ H27	■トイレ快適化計画に基づき、小学校は洋式化率が20％に満たない学校、中学校は10％に満たない学校を優先的に整備 ■大規模改造工事等にあわせて整備 ※整備した学校数：H25～H27（前期）で小学校13校、中学校5校 【事業費 7.8億円】											
		【後期】 H27 ～ H29	■さらに児童・生徒の人数に考慮した整備が早期にできるよう計画を見直し、洋式便器当たりの児童・生徒数の考え方を取り入れ、1洋式便器当たりの児童・生徒数が「20人」以下となるよう整備 ■大規模改造工事等にあわせて整備 ※整備した学校数：H27（後期）～H29で小学校16校、中学校7校 【事業費 3.7億円】											
		49	2,120	1,211	57.1	20	1,010	535	53.0	3,130	1,746	55.8	230	
避難所整備	R1・R2		■避難所の衛生環境向上のため、洋便器が設置されていない屋内運動場のトイレ洋式化を実施 【小学校】9校・15基洋式化 【中学校】4校・7基洋式化 【事業費 0.1億円】											
		49	2,135	1,274	59.7	20	987	550	55.7	3,122	1,824	58.4	236	
感染症対策	R2		■国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を有効活用し、避難所としての機能を担う学校施設のトイレ洋式化を実施 【小学校】31校・133基洋式化（校舎17校80基・屋内運動場14校16基・職員用17校37基） 【中学校】13校・56基洋式化（校舎8校37基・屋内運動場8校15基・職員用3校4基） 【事業費 0.9億円】											
		49	2,135	1,370	64.2	20	986	602	61.1	3,121	1,972	63.2	277	
		R3	■国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を有効活用し、給食調理員の感染症対策として給食室内のトイレ洋式化を実施 【小学校】21校・21基洋式化 【中学校】1校・1基洋式化 【事業費 0.1億円】											
49	2,129		1,388	65.2	20	983	617	62.8	3,112	2,005	64.4	303		

※ 表中の洋便器数は、大規模改造(平成24年度～令和2年度)・長寿命化改修(令和3年度～)や増築・改修工事にあわせて進めた洋式化を含む

※ 校舎及び屋内運動場のトイレ(屋外専用トイレ、プールは除く)・多目的トイレ、障がい者トイレ等を含む

令和4年度取組予定

密を避け、感染リスクをより低減させるために、児童生徒数に対して洋式トイレの数が不足している小中学校のトイレ洋式化を推進

2-2 学校施設の整備(エアコンの整備)

【 エアコン整備の状況 】

種別	種別	施設整備 (PC室・図書室)		エアコン整備事業 (普通教室・特別教室・給食室)						大規模改造・ 増築等		感染症対策				合計
		H23～H28 (小計)		H29		H30		R1		H24～ H28	H28～ R2	R2		R3		
		室数	事業費	室数	事業費	室数	事業費	室数	事業費	室数	室数	室数	事業費	室数	事業費	
小学校・ 義務教育 学校(前期)	普通教室	—	—	—	—	283室	6.8億円	325室	17.8億円	29室	60室	—	—	—	—	697室
	特別教室	46室	1.1億円			—	—	184室		5室	20室			1室	913千円	256室
	給食室	—	—			—	—	31室		2室	3室			—	—	36室
	保健室	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25室	0.1億円	4室	1,884千円	29室	
中学校・ 義務教育 学校(後期)	普通教室	—	—	200室	4.6億円	—	—	—	4.8億円	21室	41室	—	—	—	—	262室
	特別教室	10室	0.3億円	—	—			104室		7室	17室			—	—	138室
	給食室	—	—	—	—			3室		—	—			—	—	3室
	保健室	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9室	0.1億円	1室	638千円	10室	
幼稚園	保育室	—	—	—	—	—	—	4室	0.1億円	—	—	10室	0.1億円	1室	1,078千円	15室
	遊戯室	26室	0.6億円					—	—	1室	—	—	—	—	27室	
合計		82室	2.0億円	200室	4.6億円	283室	6.8億円	651室	22.7億円	65室	141室	44室	0.3億円	7室	4,513千円	1,473室

～平成29年度 夏

中学校の普通教室へエアコン設置

平成30年度～令和元年度

小中学校の普通教室、特別教室、給食室へエアコン設置

令和2年度(感染症対策)

幼稚園の保育室へエアコン設置・老朽化により能力が低下した小中学校の保健室のエアコン改修

令和3年度(感染症対策)

老朽化により能力が低下した小中学校の保健室・図書室、幼稚園の保育室のエアコン改修(繰越分含む)

令和4年度 of 取組予定

感染症対策として、換気を行いながら十分な空調能力を確保できるよう
平成17年度に設置した**芸濃中学校の普通教室・特別教室等** 及び
老朽化により能力が低下した**小中学校・幼稚園の職員室等**のエアコンを改修

3 人的支援の充実 ～教員支援員・SSS・部活動指導員～

教員支援員

▶ 市行政経験を生かし再任用職員が教員の事務作業を支援

【教員支援員の配置状況】

年度	H30	R1	R2	R3
人数	4	7	8	9
校数	4	11	16	18

【令和3年度 教員支援員の配置先】

	配置校	退職時の役職
1	西が丘小・新町小	幼稚園長
2	南が丘小・一身田小	幼稚園長
3	立成小・高茶屋小	幼稚園長
4	北立誠小・千里ヶ丘小	幼稚園長
5	草生小・明合小	保育園長
6	橋北中・橋南中	担当副参事
7	久居中・久居東中	幼稚園長
8	朝陽中・一身田中	担当主幹
9	誠之小・成美小	幼稚園長

令和4年度に向けて

- ◆ 一人でも多くの教員支援員を確保するため人事協議中
- ◆ 引き続き複数校勤務を想定

スクール・サポート・スタッフ(SSS)

▶ 教員が抱える事務作業等の負担を軽減

【SSSの配置状況】

年度	配置数
H30	・1校1人
R1	・2校2人
R2	・年度当初～ 24校25人 ・年度途中～ 44校47人
R3	・69校85人(全校配置)

令和4年度に向けて

- ◆ 国へ事業の継続・拡充を要望
- ◆ 県へ予算の確保を要望

部活動指導員

- ▶ 顧問に代わり部活動の運営・指導
- ▶ 年間1人当たり210時間勤務

【部活動指導員の配置状況】

年度	H30 (10月～)	R1	R2	R3
配置数	2人 (2校)	10人 (8校)	12人 (9校)	13人 (12校)

※令和3年度は運動部10人、文化部3人

令和3年度予算額 **443万3千円**

国の補助事業(教育支援体制整備事業費補助金)を活用
(財源内訳:国1/3、県1/3、市1/3)

令和4年度に向けて

- ◆ 配置希望調査を実施し、各校のニーズに合わせて13人の配置を県へ要望



4 市立幼稚園の取組

認定こども園への移行

■ 河芸こども園の開園

令和4年4月に津市立として6つ目となる認定こども園を開園

■ 認定こども園における幼児教育の推進

認定こども園研修会の充実、
幼保相互派遣研修の継続、
幼児教育アドバイザー・
指導主事園訪問の充実 など



適正規模集団の確保・維持

令和3年度

園児数588人(21園)

令和4年度

園児数477人(19園)

■ 混合学級の編制

隣り合う2学年が共に9人未満となる7園において実施

■ 合同保育の実施

混合学級を編制しても9人未満となる状態が2年続く見込みの2園において実施

市立幼稚園として質の高い幼児教育を展開

■ 教育内容の充実

教員の資質向上・研究の推進

- ① 津市5歳児カリキュラム検討会の設置
 - ・「幼児期に育みたい10の姿」の研究
- ② 幼小連携についての研修の継続
 - ・公私立保幼小合同研修会・私立幼稚園との合同研修会の開催
- ③ 混合学級編制による子どもの育ちの検証・研究
- ④ ICTを活用した園外研修、会議の充実
- ⑤ 幼児教育アドバイザー・指導主事・幼稚園相談員の園訪問、研修会の充実
 - ・新規採用教諭4人を含め若手職員の人材育成の研修会

保育環境の充実

- ① 藤水幼稚園で新たに給食を開始
- ② コロナ禍での保育や行事の工夫
- ③ 感染症対策を講じた保育の継続
 - ・国からの臨時交付金を活用した感染症対策と保育環境の充実

■ 家庭、地域との連携

- ① 園の活動の様子や家庭通信を保護者へデジタル配信
- ② 各幼稚園の特色や取組を地域や保護者へ発信
- ③ 各幼稚園のHPを新設し、市立幼稚園を広く周知予定

5 民間プールを活用した水泳指導業務委託の試行

学校プールの現状

半数以上が設置後40年以上経過し、老朽化が深刻

コロナ禍の影響で令和2年度、3年度に
ほとんどの学校で水泳授業が中止
→この期間で更に劣化が進行

使用困難な学校プールのあることが判明

水泳授業の必要性

津市の水泳授業

▶夏季に毎年度約6～10時間の水泳授業を実施

水泳授業の目的

- ▶子どもの健康や身体能力の向上
- ▶水の危険から身を守るために必要な泳力の習得

子どもたちにとって水泳授業は必要

令和4年度当初予算で関係
予算を要求・財政協議中

学校プールで授業ができない子どもたちへ
水泳指導を行う必要がある

令和4年度

学校プールの使用が困難な小学校の子どもたちへの
水泳指導の民間委託を実施予定

- ▶送迎やインストラクターによる指導も含め委託し、教員とともに水泳授業を実施予定
- ▶気温や天候に影響を受けない屋内プールの利用により、柔軟な水泳授業のカリキュラムを編成し、水泳授業を受けることが可能
- ▶民間プールへの移動距離が長い小学校の場合、子どもたちの負担となる可能性、移動時間を含めた授業時間の捻出が必要



効果の検証

今後の水泳授業の
在り方を検討する
ための試行としても
位置付け

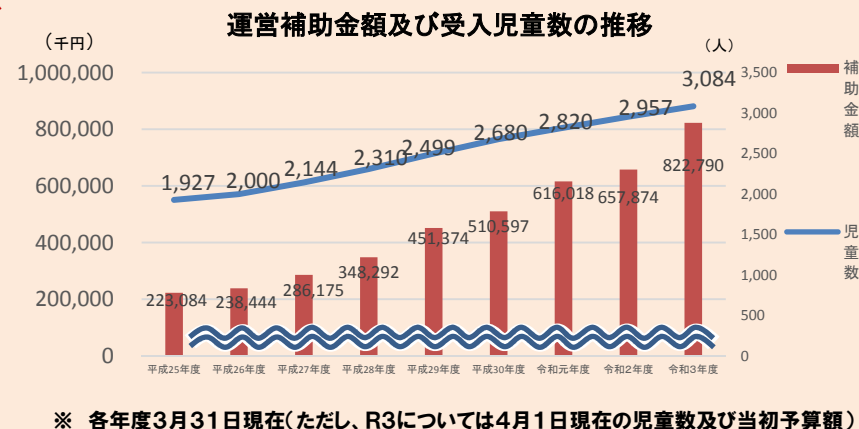
民間委託による
効果を検証

6 放課後児童クラブの充実

- 津市の放課後児童クラブは、令和3年4月1日時点で**76クラブ**（公設民営55、民設民営21）あり、**3,084名**の児童が利用

- 放課後児童クラブに対して、運営費の補助や施設の整備、支援員確保の支援、コロナ感染症対策に係る支援を実施

令和3年度に整備した
栗葉放課後児童クラブ
事業費 1,078万円



1 施設整備

課題

- 専用区画面積の確保が必要
R3.4現在 16クラブが狭あい化

整備方針に基づいた施設整備

令和3年度の取組

- 【改修工事】
成美放課後児童クラブ
栗葉放課後児童クラブ
- 【実施設計】
南が丘地区放課後児童クラブ

令和4年度の方向性

- 南が丘地区放課後児童クラブの施設整備
- 施設整備のための実施設計を1か所実施

財政協議中

2 支援員等確保の支援

課題

- 夏休み等はクラブ職員が不足
- 求人募集しても応募が少ない
- 育成支援の周辺業務を行う職員不足

令和3年度の取組

- 教育現場で勤務する会計年度任用職員が夏休みなどの長期休業中に放課後児童クラブへ従事する取組を継続して実施

令和4年度の方向性

- 会計年度任用職員のクラブ従事の推進、HP等でも情報発信
- 育成支援体制強化のための補助

3 コロナ対策支援

課題

- 利用児童の密状態の緩和
- 感染症に対しての運営上の不安

令和3年度の取組

- 学校へ放課後児童クラブが学校施設を使用できるよう継続して協力依頼
- 個別にクラブからの個別課題へ対応

令和4年度の方向性

- 継続して学校への協力依頼
- 各クラブとの懇談会を実施し個別の課題へ対応